

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
精神保健福祉援助演習Ⅱ		選択	2	4	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
山口 雅弘	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問等受付			
授業の目的・概要	<p><目的>実践に基づいた専門職であるソーシャルワーカーには、知識だけでなく高い実践力が求められる。このため、演習Ⅱにおいてはソーシャルワーク実践における基本的な対人援助技術や方法、対象者などについて、視聴覚教材や演習を通して学ぶ。「精神保健福祉相談援助の基盤」及び「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」等で学んできたソーシャルワークの理論・価値を実際の現場で具体化していくための知識や技術を習得することを目的とする。</p> <p><概要>講義はテキストの事例、創作事例等をもとに個人ワークとグループワークを中心にして進めていく。グループで事例や課題等を検討し、課題ごとに発表、全体共有を行うことで気づきの共有を図る。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	自分が感じたことを言葉で表現し伝え合うことで相互に学び合うことを目指している。そのため、主体的・能動的に授業に臨む姿勢が一番求められる。					
教科書	精神保健福祉援助演習(基礎・専門)第2版(新・精神保健福祉士養成講座8)/編:日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版					
参考書	特になし					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	対人援助職に必要な様々な援助実践モデルやアプローチ、課題、対象者を想定し理解できる。			HSU(1)、(2)、WP(1)、(2)		
②	さまざまな援助実践モデルやアプローチについて基本的な実践を行うことができる。			HSU(5)、WP(3)、(5)		
③	自分が感じたことを言葉で表現し伝え合うことで相互に学び合うことができる。			HSU(4)、WP(4)、(6)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	授業オリエンテーション、授業概要や学習方法を確認する。	講義	今回の内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
2	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】ストレングスモデルについてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
3	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】リハビリテーションモデルについてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
4	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】危機介入についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
5	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】チームアプローチについてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
6	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】ケアマネジメントについてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
7	【支援課題を基盤とした演習】医療に結びつける援助についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
8	【支援課題を基盤とした演習】地域移行支援・地域定着支援・居住支援①についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
9	【支援課題を基盤とした演習】地域移行支援・地域定着支援・居住支援②についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
10	【支援課題を基盤とした演習】権利擁護についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
11	【対象者別に見た演習】認知症高齢者についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
12	【対象者別に見た演習】就労支援・生活支援についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
13	【対象者別に見た演習】地域支援についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
14	【対象者別に見た演習】当事者支援についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	
15	【隔週の総括】全体を振り返ってのまとめを行う。	講義	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。		4	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

試			
---	--	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	10	0	90	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	15	15
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	10	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	15	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	20	25
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①		演習、グループワークの報告、発表時の姿勢や内容等により教員が評価。評価にあたっては報告、発表に対する他の学生の反応・リアクション等も考慮する。	授業の中で講評及び解説を行う。
	②			
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	毎回の演習授業の際に、達成度評価の指標に合わせた評価票を学生毎に作成し、教員が評価。 演習時の取組みの姿勢やコミュニケーションの様子、リアクションペーパー等により教員が評価。	授業の中で講評及び解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	教員は精神保健福祉士の資格を持ち、精神科病院で 25 年相談支援業務に従事している。
実践的授業の内容	担当教員は、精神科病院で精神保健福祉士として相談支援業務に従事しており、現場で出会うことが予想される対象者や場面を想定しながら授業を行う。教員が現場で支援した対象者や実際の支援場面を取り入れながら、教科書で示される演習事例とあわせて学習していく。実際の支援場面における精神保健福祉士の価値や倫理について、教員の現場経験も学習における資料の一助としながら学べるような演習を実施する。個人情報には配慮し、個人が特定できる情報は提示しない。
そ の 他	今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によりシラバスが変更となる可能性がある。 精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。